

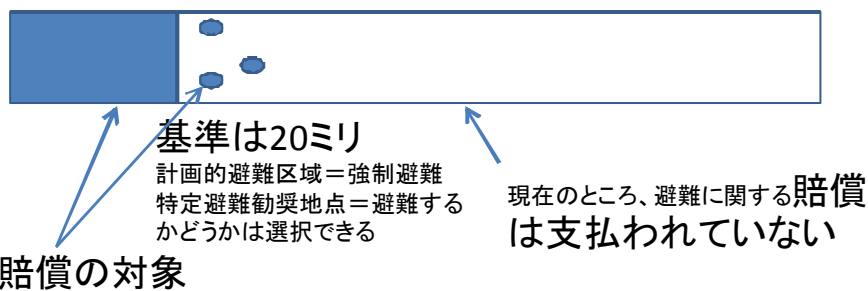
2011年10月3日

## 避難区域外の「福島」で 今、生じていること

国際環境NGO FoE Japan  
満田夏花（みつた・かんな）

1

### 現在の避難区域



- 避難費用（交通費、引っ越し代、宿泊費など）
- 避難が理由の生命・身体的損害
- 検査費用
- 精神的損害 など

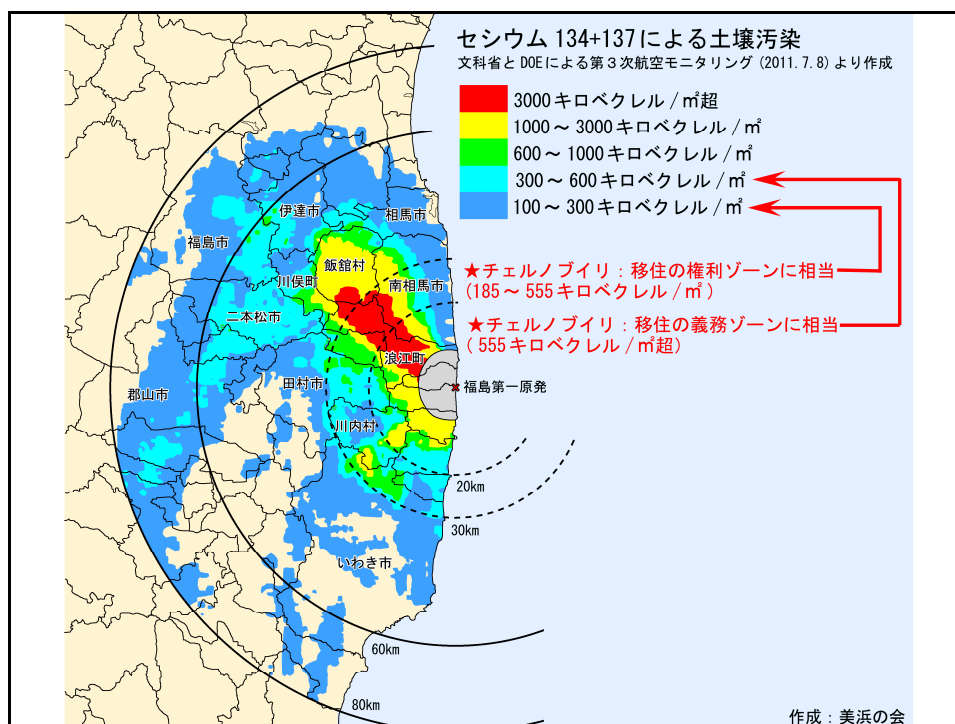
## チェルノブイリの避難区域の設定

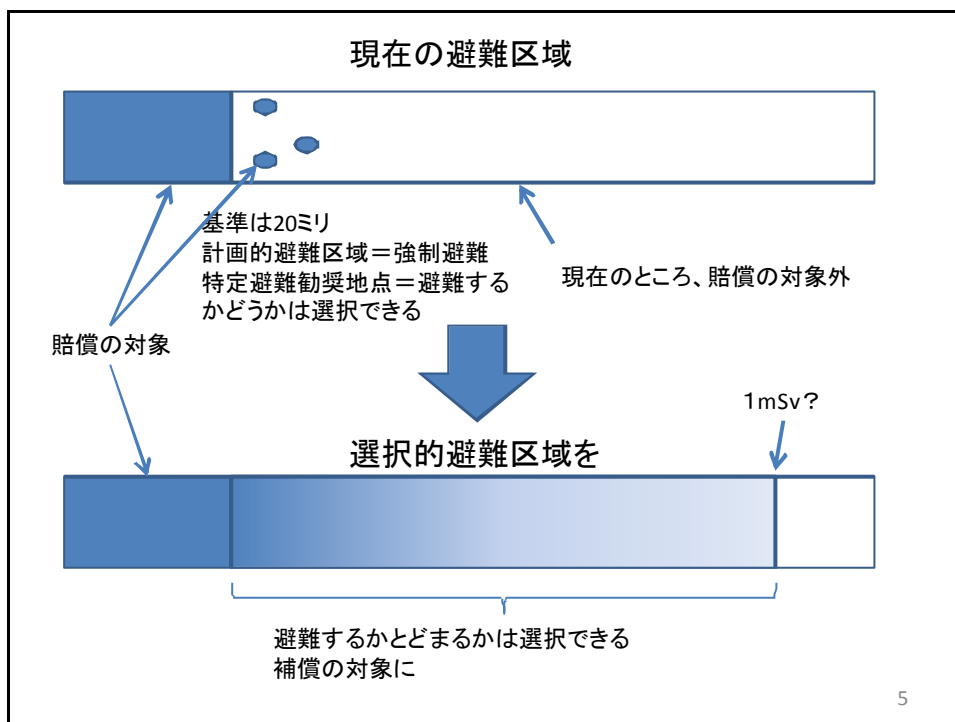
	土壌汚染 セシウム 137 (kBq/m <sup>2</sup> )	被ばく量
特別規制ゾーン	1480以上	日本の場合、計画的避難区域(20ミリシーベルト以上)
移住の義務ゾーン	555以上	5ミリシーベルト以上
移住の権利地域	185～555	1ミリシーベルト以上
徹底的なモニタリングゾーン	37～185	0.5～1ミリシーベルト

日本の場合、特定避難勧奨地点(20ミリシーベルト以上)

出典: Vladimir P. MATSKO and Tetsuji IMANAKA(1997): Legislation and Research Activity in Belarus about the Radiological Consequences of the Chernobyl Accident: Historical Review and Present Situationおよび2011年8月20日、イリーナ・ラブンスカ/グリーンピース・エクセター研究所主任研究員講演より作成

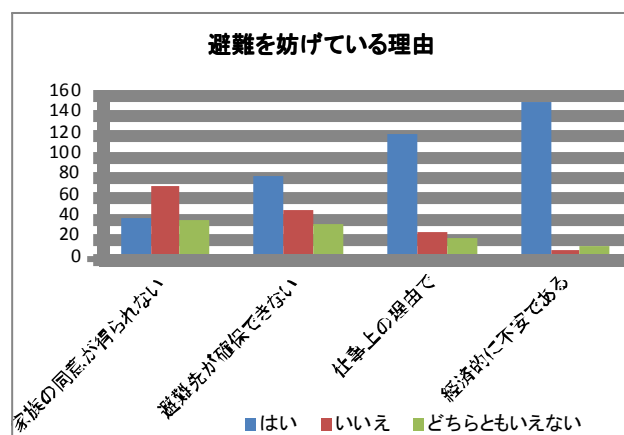
3





## なぜ「避難の権利」？

### 「避難をしたくても避難できない」福島の実情



自主避難に関するアンケート結果(2011年7月25日)  
 フクロウの会、国際環境NGO FoE Japan実施

## 福島市大波地区で生じたこと

- 当初から高い線量を示していたが、半年間放置
- 9月3日に説明会開催
- 「 $3.1\mu\text{Sv}$  (注) を超過する箇所がないことから特定避難勧奨地点は指定せず」→しかし、文科省が実施した自動車サーベイでは、 $3.1\mu\text{Sv}$ 以上の場所が多く見られていた
- 子ども・妊婦などがいる世帯についても同様
- 市は、市民に対して除染への協力をもとめた
- 多くの反発

注) 屋外16時間、屋内8時間、屋内は野外の0.4倍の線量であると仮定し、年20ミリシーベルトから導き出した屋外の線量。放射線管理区域は、 $0.6\mu\text{Sv}$ なので、その5倍以上となる

7

福島民報  
2011年(平成23年)9月4日(日曜日) ★8版(20)

福島市  
大波地区

「特定避難勧奨指定せず」説明  
住民落胆、除染求める



図の担当者らの説明に関き入る住民

「自主避難しかない」  
大波小で午後七時からの結果、最大で毎時約三百人の地元住民が、九時前(地上二階)から政府や市の対応を問うた。特定避難勧奨地点の指定基準の年間二十回(約四時間)に及んだ。「首を越えたと予測された」冒頭で政府の担当者「上回った地点はないと指定しない理由を説明した。地区内三百七十地点の放射線量の調査とを優先して調査した。住民の一部は、除染

政府の原子力災害現地対策本部は、福島市大波地区で住民説明会を開き、既に固めていた特定避難勧奨地点に指定しない方針を正式に示した。説明会に出席した住民からは自主避難しか選択肢がなくなったとする落胆や、徹底した除染を求める声が相次いだ。

8

## 結論ありきの住民説明会①

市：避難は経済を縮小させる。除染を進めたい。住民も協力してほしい。

住民：

- 「畑は4 $\mu$ を越える、畑で長い時間を過ごす人が多い。なぜ生活の場である畑を測らないのか？」
- 「線量が下がってから測っている。指定されないのは納得できない」
- 「1ミリをもとに避難基準を設定すべきではないか」
- 「子どもたちは既に内部被ばくをしている。すぐに避難させて欲しい」
- 「すべての子どもたちの避難に補償を出して欲しい」
- 「山や畑の除染は不可能ではないか？」
- 「除染でさらに被ばくさせられるのは納得できない」

9

## 結論ありきの住民説明会②

住民：万が一、将来ガンになったときに、東電は補償してくれるのか？

東電：因果関係が証明できない場合は、補償しない。

10

## 環境放射線モニタリング詳細調査結果(大波地区)

測定日: 7月23日、26日～28日、測定点: 370地点

単位:  $\mu\text{Sv}/\text{h}$   
高さ1mでの、庭先と玄関先の高い方の値

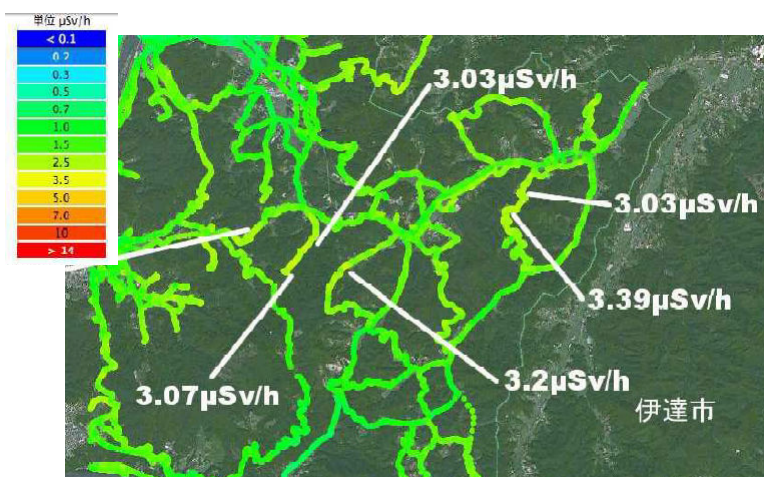
地区名	地点数	最小値	最大値	地区名	地点数	最小値	最大値	地区名	地点数	最小値	最大値
字星ノ宮・測ノ上	7	1.7	2.6	字清水・笠石山	5	1.3	2.2	字曲ヶ坂	6	1.2	1.6
字大西・住吉	8	1.8	2.3	字入笠石・笠石	10	1.4	2.8	字芽久保・八才子	7	0.87	1.4
字鳥谷平・五輪平	10	1.0	2.2	字上屋敷	5	1.4	2.3	字高森	8	1.1	1.4
字槽町	8	0.84	2.0	字竹ノ内・上屋敷前	9	1.1	2.3	字一里壇入・一里壇	15	1.0	2.0
字岩崎・冷田山・四条内	7	0.64	2.9	字古戸	6	1.2	2.1	字久保	5	1.0	1.6
字岩巡	6	1.4	2.4	字黒森・通草作	11	1.1	2.4	字中田・染屋・萩田	8	1.2	1.8
字寺前・寺道・下染屋	12	1.2	2.4	字銘・水戸内	18	0.24	2.3	字中栢・当下	6	0.97	1.8
字上灘内・櫛町前・藤四郎内・寺脇・平山	9	0.94	1.8	字姥ヶ橋	6	1.7	2.1	字小畑沢・小畑沢山・台田	7	1.1	1.5
字小滝ノ入	9	0.83	1.4	字黒志田	6	0.98	1.8	字岡谷地・反田	8	0.99	1.6
字上田代山・志田・大林	6	1.6	2.3	字真垣	7	1.2	2.1	字笠ヶ森・与五郎・新田・新田入・新田下・新田山	8	1.0	1.5
字桐ヶ作・滝ノ入	9	0.74	1.3	字土屋場・萩久保入向	8	1.2	1.9	字塩ノ平・塩ノ平山	9	1.2	2.2
字石田	6	0.98	1.8	字熊野山	6	0.88	1.8	字菖蒲沢	5	1.1	1.5
字古内・沢内・小豆畑	13	1.6	2.3	字戸石	9	1.0	2.1	字城前・水戸内向	50	1.1	2.7
字古内前・若地・栃久保	7	1.2	2.3	字萩久保・奈良婦	5	1.4	2.1	大波地区全体	370	0.24	2.9

⇒ 年間20mSvを超えると予測される地点(測定時で3.1 $\mu\text{Sv}/\text{h}$ )は無し

とはいえ、軒並み、放射線管理区域(0.6 $\mu\text{Sv}/\text{時}$ 以上)

4  
11

## 大波 自動車走行サーベイ結果



文科省HPより

自動車サーベイでは指定基準を超える箇所があった